

PHAYAOLレポート 2008-06 (～二つの異なる民族～)

スタディツアー参加者からの報告 (日刊新周南 連載記事から)

藤屋侃二さん(68) 下松市幸ヶ丘 元KRY取締役ラジオ局長

2008年(平成20年)11月6日(木)

4



ミャンマーでは支配民族は管区、少数民族は州に住んでいる

NGO・シャンティ山口が支援しているタイ北部の山岳少数民族のモン族の祖先は中国の揚子江流域に住んで

少数民族モンを訪ねる 二つの異なるモン族

いた。

しかし漢民族に追われて中国南西の貴州、雲南、四川などの山岳地帯に住むようになる



が、そこでも漢民族から迫害や差別を受け、一部は東南アジアのベトナムやラオスなどに移り住んだ。
現在、中国には約五百万人のモン族がいると言われるが、中国では彼らをミャオ(苗)族と呼ぶ。
またラオスやタイではメオ(猫族)と呼ぶ。しかし彼らはミャオ、メオはべつ称として嫌い、モン(自由の民)を民族名としている。中国の呼び方でわかるように彼らは稲作をルーツと言われる民族だ。「モン」の歴史の中



中国がルーツの蒙の民族衣装
— 支族によって色、形は違いますが刺しゅう入りだ

で、このモン族が十一世紀にタイ北西部にハリブンチャイ王国を興したと書いた。
しかし、それは間違いで、東南アジアにはもう一つ、モン族という違う民族があり、ハリブンチャイ王国は彼らの国だった。
たまたまミャンマーの地図でモン州を見つけると、そこに住むモン族は中国をルーツとするモン族とは全く違う民族という。中国がルーツのモン族の一支族と思込むとは恥ずかしい。「MON」と表記されるハリブンチャイ王国を興したモン族は、紀元前から東南アジアに居住してモン文字を開発し、東南アジアの文字形式に大きな役割を果たした文明民族である。
しかし十三世紀末、ハリブンチャイ王国はラインナー・タイ王国に滅ぼされ、モン民族は南下する。
そして現在のミャンマーのペゲーにペゲー王朝を築いたが、一七五七年、ビルマ族との

戦いに敗れ、モン民族の国は消滅した。
現在、その子孫がミャンマーのモン州に八十万、タイに十万余りいるという。
一方、中国がルーツ

のモン族は「H M O N G」と表記される。これはベトナムに移り住んだミャオ族が自称した名前に由来すると言われる。
ヨーロッパ系言語、例えばスペイン語でホテルをHOTELと表記するが、Hは発音せず「オテル」と言うように、H M O N GもHを発音せず「モン」となったのだらう。
一つのモン族はともに二千年以上の歴史を持つが、今は少数民族として、支配民族に左右されながら生きていくことに心が痛む。(元山口放送取締役ラジオ局長)



古くから東南アジアに住むモン族の民族衣装はシンプル

— シャンティ山口教育支援募金にご協力をお願いします。 —

2008.11.6 saeki